

# 森と緑の会だより

## TOPICS

特集：森や木に親しみ五感を育む木育

平成 30 年度事業報告

- ・緑の募金による植樹・育樹活動
- ・緑に関するボランティア活動への支援
- ・子どもたちの森林環境学習

2019  
春号



表紙の写真：木育講座「佐川町の木からうまれたファーストスプーンづくり」  
2月19日（火）に佐川町健康福祉センターかわせみで、妊婦さんや乳幼児の保護者等を  
対象に地元の木で離乳食用のスプーンを作る講座を行いました。



緑の募金

# 森や木に親しみ 五感を育む **木育**

子どもの頃から木や森とふれあうことで子どもの健やかな成長を促し、将来自然を大切に考え行動できる人を育てる取り組み「木育」。

1月27日(日)に高知県保育士会主催の保育研究集会分科会で、保育士さんを対象に木育についてお伝えする研修を実施しました。

## テーマ1：子どもと自然（生きる力を育む）



若草幼稚園の園長先生をされていた時に、子どもたちに自然の中で心身を育んでほしいと「すくすくの森」での保育を取り入れた岡林道生さん。その経験をもとに、幼少期の自然体験の必要性やすぐに園で実践できる方法等についてお話いただきました。

岡林道生さん

(高知県親育ち支援アドバイザー・若草幼稚園元園長)

### 森での遊びで子どもたちの「生きる力」を育みます！

- ・頭のてっぺんから手足の先までをフルに使って遊び、柔軟な心と身体を育みます。
- ・好奇心や探求心が旺盛になり、知る喜びや想像（創造）力を育みます。
- ・四季折々の森の表情や生きものとの出会いが、豊かな感性を育みます。
- ・生きものに触れ、生命の尊さとそのつながりを学び、大切にしようという心が育まれます。
- ・お友だちと一緒に遊び、ともに成長します。コミュニケーション能力も養われます。
- ・自分の力（できないこと）を知り、それでもあきらめず挑戦し、やり遂げるようになります。
- ・危険予知能力など人間が本来持っている力を発揮するようになります。

### 園庭に自然を

- ・気軽に行ける森が近くになくても、園庭に土と水があれば遊びは無限。
- ・樹木や植物があると、虫などの生き物とのふれあいや木登り、落ち葉や木の実の活用など遊びの幅が広がります
- ・小さな築山や斜面でも、そこからいろんな活動が生まれます。

少しの工夫で小さくても自然豊かで変化のある園庭にすることができます。また、近くの公園などへのお散歩でも、通る道沿いの自然など周辺環境を把握することで、子どもたちが体験できることを増やせます。

## テーマ2：五感で感じる木の変化

ワークショップ



平子真治さん

(木育インストラクター)

スギとヒノキの丸太のスライスを使って、五感で木という素材に触れ、変化を感じていただきました。

- ・みる・・・木目・色目・つや
- ・きく・・・割る・叩く
- ・かぐ・・・嗅ぐ・濡らした匂い
- ・ふれる・・・こする・削る・磨く
- ・あじわう・・・かむ・なめる





### ワークショップの感想

- ・ヒノキやスギにふれ、においや感覚を味わえて、身近に感じることができた。
- ・木ひとつでもにおいや色などの違いを知れて、子どもの頃に戻ったように楽しめた。

## テーマ3：園庭で手に入るものを使った「遊び」

ワークショップ



「山の一日先生」として保育園等で園児に木工や自然遊びを教えている堀田さん。木の葉や枝を使った簡単ですぐに実践できる遊びを教えてくださいました。「森の万華鏡」に葉っぱ数種類を入れて覗くと、緑のグラデーションが模様を描きます。色紙では表せない自然の色の変化に驚きの声が上がっていました。

堀田幸生さん（木育インストラクター）



### 木育研修の参加者からの感想

- ・自然の中で遊ぶことは五感が刺激され、いろんな挑戦ができることを学んだ。
- ・木育についてあまり知らなかったが、今日の研修で実際に体験でき、興味が持てた。
- ・園内にもよくある素材で自然に触れられることがわかった。できることから取り入れたい。

## 木にふれて・つくって・感じよう！ こうち木育ひろば オーテピア

3月31日（日）

10:00-12:00 木育ワークショップ

### 木のおまもりペンダントをつくろう！

「クイズで知ろう！木や森の不思議」「木のおまもりペンダントづくり」「絵本の読み語り」で木にふれ・つくって・感じました！



13:00-16:00 木育ひろば

### 木のおもちゃ遊び&木工体験

木を削ったり、くっつけたり、磨いたり、木工体験を楽しみました。  
オーテピア図書館のご協力で「森の図書館」や「絵本の読み聞かせ」も行いました。



今後も定期的の実施できたらと思っています。



次世代になう

# 子どもたちの森林環境学習

## 農林漁業の学習と植樹体験

緑と水の森林ファンド

この事業は、毎年宿毛市農林漁業協同組合連絡協議会が行っているもので、緑と水の森林ファンドで事業費を支援しました。

2月4日(月)に宿毛市立小筑紫小学校、山奈小学校の生徒58名が「山・川・海」のつながりを学習した後、宿毛市日平農村公園にイロハモミジ150本を植樹しました。植樹には、地域の水循環にとって必要な森林資源を再確認することを目的に、協議会の関係者も参加しました。



お昼ごはんは、海の恵みきびなごの天ぷらをのせたカレーをいただきました。

苗木には学校名・植えた生徒の名札をつけました。

### 子どもたちの感想

- ・宿毛湾に数多くの種類のサンゴやナマコが生息していることを知りました。
- ・植樹していくことにより山に水が蓄えられ、栄養たっぷりの水が海に出ていくので、植樹していくことが大事ということがわかりました。

## 山の学習支援事業

高知県の森林環境税

小・中学校の「総合的な学習の時間」等を利用して、平成30年度は県内55校で森林環境学習が実施され、5,159名の生徒が学びました。

### 南国市立鳶ヶ池中学校1年生の取り組み

11月15日(木)高知県立甫喜ヶ峰森林公園で、間伐体験を行いました。49名が2班に分かれて、各班1本ずつスギの木をノコギリを使って伐倒しました。みんな交代しながら力いっぱいノコギリを引き、約1時間後に倒すことができました。作業中は、「のこぎりの持ち方こうじゃない?」「もうすぐ倒れるき近づかれん」など、注意しあったり助けあったりする様子があちこちで見られました。

危険を感じる場所だからこそ、このような助け合いや配慮が生まれ、相手を思いやる気持ちやコミュニケーション能力が養われます。山の学習支援事業では、山の大切さとともに、仲間を思いやる心も培ってほしいと願っています。



「いいにおい～」と木のかけらを持って帰る生徒もたくさんいて、五感をフルに使って山の学習を楽しみました。

### 子どもたちの感想

- ・立っている木を自分たちの手で伐るのは大変やけど楽しかった。
- ・山に来たことがないのでよかった。



## 緑の広がりで地域を元気に！ 「緑の募金」による植樹活動

毎年秋に募集する苗木支援や交付金事業、当会支部が実施する事業等で、平成 30 年度は県内 113 ヲ所に 4,258 本の苗木が植樹されました。



### 春野総合運動公園

1 月 26 日 (土)

今年も高知北ライオンズクラブの支援で桜 20 本を植樹しました。植樹にはこうち森林救援隊さんにも協力いただきました。



### 黒潮町入野松原

11 月 ~ 2 月

入野松原は近年松枯れが深刻で、平成 30 年度は例年の 4.5 倍の約 1,800 本が枯れ、枯れた松の伐採本数は 2,030 本とかつてない被害となっています。松林を再生するため、緑の募金公募事業や毎年幡多林業事務所や森林組合が行う植樹活動などで松苗を計 800 本植樹しました。



黒潮町林間学校での植樹には市内の小学生 22 名が参加し、松林の機能についても学習しました。

### 越知町黒森山

11 月 11 日 (日)

仁淀川流域山林保全育成の会の関係者ら 67 名が参加し、皆伐地に広葉樹 1,000 本を植樹しました。平成 21 年度から 12 回の植樹や自然萌芽により森林が再生しました。ふもとの集落の方によると、植樹前は冬に水枯れして困っていたが、最近では冬でも水に困らなくなったとのことです。植樹により森林の保水力が高まったことがわかります。





# に関するボランティア活動を支援します！

## 緑の募金交付金事業

緑の募金

毎年 10 月から 11 月末にかけて一般公募し、翌年 2 月の審査会で採択された事業を 4 月から実施します。詳しくは、当会ホームページをご覧ください。

### 平成 30 年度に実施した事業

	事業名	実施団体
森林整備	山林保全育成事業	仁淀川流域山林保全育成の会
	入野松原松苗植樹事業	入野松原保存会
	四万十上流森林公園づくり事業	四万十元気村農園
	大野見島ノ川渓谷景観づくり事業	島ノ川渓谷等修景緑化推進委員会
緑化推進	奥物部みやびの丘再生事業	三嶺の森をまもるみんなの会
	白髪山・工石山保全活用事業	本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会

### 平成 31 年度に実施予定の事業

	事業名	実施団体
森林整備	入野松原松苗植樹事業	入野松原保存会
	大野見島ノ川渓谷景観づくり事業	島ノ川渓谷等修景緑化推進委員会
	四万十上流域森林公園づくり事業継続・整備	四万十元気村農園
	国立室戸青少年自然の家の山林及び山道の整備事業	むろと黒潮・体験の風をおこそう運動実行委員会
緑化推進	三嶺の森再生事業	三嶺の森をまもるみんなの会
	白髪山・工石山保全活用事業	本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会
	en ～灯りと自然と音楽と～ 2019	一般社団法人いの町観光協会
	高の森（山）の環境整備・保全	旭西部まちづくり推進会議

## 土佐町桜のテングス病治療実習

緑と水の森林ファンド

樹木医セミナー受講者を対象に土佐町で桜のテングス病治療実習を行いました。樹木医の指導のもと地元の方にも協力いただき、病気にかかった枝を除去し、切口には腐朽が入らないように防菌癒合材を塗りました。また、土壌改良として地面に穴を開け、パイル肥料を打ち込みました。この研修をそれぞれの地域で活かして、桜を元気にしていただきたいと思います。



### テングス病ってどんな病気？



右写真のような枝を見かけませんか。テングス病はカビの一種が原因で発生する伝染病で、発生形態が十分に解明されていないため、薬剤散布等の防除法が確立されていません。放置すると伝染するので、病気の枝を除去・焼却して対処します。温暖多雨な地方で発生する傾向がみられ、特に盆地や谷あい、湖畔などの湿度が高く日当たりの悪い場所で発生します。ソメイヨシノはこの病気に罹りやすく、県内各地で発病しています。





## こうち山の日推進事業

高知県の森林環境税

平成 30 年度は体験ツアーや森林学習イベント、山の日先生派遣事業など 36 事業が実施され、のべ 14,056 名が参加しました。

### 「石おのからチェーンソーまで（木こりの今昔ものがたり）」立川体験交流会の会

11 月 10 日（土）大豊町立川イチノセシモの森で、昔の山の暮らしや林業について学び、実際に石おのやチェーンソーなどの道具を使って、野菜や丸太を切る体験をしました。この地域は平成 30 年 7 月豪雨で大きな被害があった場所で、今なお不自由な生活を強いられています。山崩れの被害状況やその原因が森林整備の遅れにあることを知り、県民みんなで山のことを考え、次世代へと繋げていくことの大事さを改めて感じる機会となりました。



平成 31 年度「こうち山の日推進事業費補助金」

募集期間：1 次募集を締め切りました。2 次募集を行う場合は、5 月下旬にホームページにて告知します。

事業期間：交付決定日から 2020 年 1 月末まで

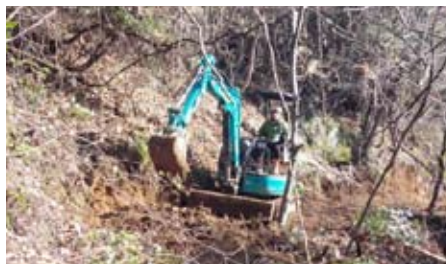
## 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

林野庁の国庫金等

平成 30 年度は 58 団体が里山林の保全管理・竹林整備や資源利用等の事業を行いました。里山林と地域住民をつなげることを目的としており、地元の資源を有効活用して地域の産業につなげるなど、地域活性化に貢献しています。

さかわキコリンジャー 2017（佐川町）

フォレストファーマーズ下切（三原村）



山林所有者の高齢化や林業の担い手不足により荒廃した里山林を、地域住民や地域おこし協力隊、自伐型林業の方などが協力し、作業道や林内整備を行いました。今後は薪材やバイオマス材として搬出を行う計画です。

集落の活性化を目標に立ち上げた活動組織。バックホーの運転やチェーンソーの扱いにも慣れたメンバーが集まり、荒廃した里山林や竹林の整備を行っています。団体の活動により地域住民の森林への関心も強まり、里山林の整備が進んでいます。

平成 31 年度「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」

募集期間：1 次募集を締め切りました。2 次募集を行う場合は、6 月中旬にホームページにて告知します。

事業期間：交付決定日から 2020 年 1 月末まで



# 緑の募金にご協力ありがとうございました！

平成30年（平成30年1月1日～12月31日）募金額

## 10, 170, 447円



皆さまからの募金は、地域の緑化や県内各地の森林整備等に役立てられています。

## 平成30年度緑の募金感謝状贈呈

毎年、一定額以上の寄付をいただいた方、募金活動にご協力いただいた方に感謝状を贈呈しています。

### 高知県知事感謝状

- ・ダイドー・タケナカビバレッジ株式会社
- ・ダイードリンク株式会社
- ・株式会社日産サテリオ高知

### 高知県森と緑の会理事長感謝状

- ・株式会社土佐山田ショッピングセンター
- ・陸上自衛隊 高知駐屯地
- ・高知県建設業協会中村支部
- ・日鉄鉱業株式会社 鳥形山鉱業所
- ・株式会社仁淀工業
- ・岩井建設株式会社
- ・有限会社岡の内建設
- ・イオンリテール株式会社
- ・株式会社サニーマート
- ・株式会社四国銀行
- ・株式会社ウイル



平成30年10月17日に、ダイドー・タケナカビバレッジ株式会社様から30万円を寄付いただきました。毎年行われるミウチャリティーゴルフコンペの参加費の一部を寄付してくださっており、今年で15年目となります。どうもありがとうございました！

※贈呈基準は、公益社団法人高知県森と緑の会緑の募金顕彰要綱による

## 春の「緑の募金」キャンペーン

3/1～5/31は春の募金強化期間です。緑の募金にご協力をお願いします！

### ■「緑の募金」自動販売機

自動販売機で飲み物を購入していただくと、代金の一部が募金として寄付されます。自動販売機を設置してくださるオーナーさんも募集しています。



緑の募金マークや  
どぐり君が目印です。

今年4月に新たに高知県立春野総合運動公園に2台設置していただきました！

## 賛助会員を募集しています

森林の大切さを伝え、私たち一人ひとりが森林保全に参加する「森づくりの輪」を広げるために、当会の活動をご支援いただける賛助会員さんを募集しています。皆さまからの会費は、当会の大切な活動資金となります。ご支援のほどよろしくをお願いします！

【年会費】個人 3,000 円から  
団体 10,000 円から

※会員様には、森と緑の会だより、どぐりくんもあ、イベントのご案内等をお送りさせていただきます。

※賛助会費や緑の募金は、特定寄付金として税制上の優遇措置が受けられます。

発行

公益社団法人高知県森と緑の会

〒780-0870 高知市本町5丁目1番50号中沢ビル4階

電話番号 088-855-3905 FAX 番号 088-855-3906

Email: info@moritomidori.com URL: www.moritomidori.com

当会ホームページ  
QRコード →  
イベント情報などを  
随時お知らせします

